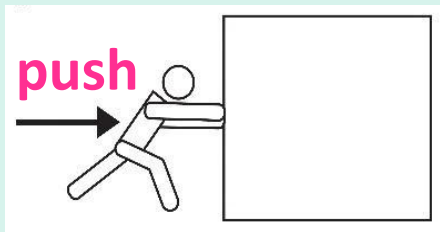
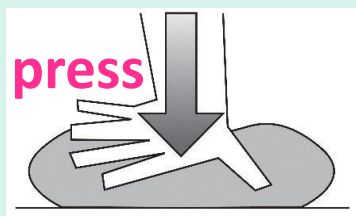


< 基本動詞 > push & pressの世界

CORE IMAGE



押す力を加える



押しつける

Don't push me.



push と press はともに「押す」ということで、ボタンを押す場合、どちらも使うことができます。しかし、これは名詞ですが、「腕立て伏せ」は **push-ups** と言い、「押し花」は **pressed flowers** と表現します。この push と press にはどのような違いがあるのでしょうか。



push-ups

腕立て伏せ

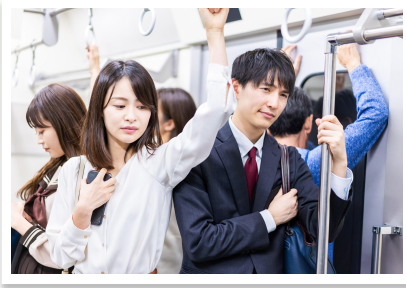


pressed flowers

押し花

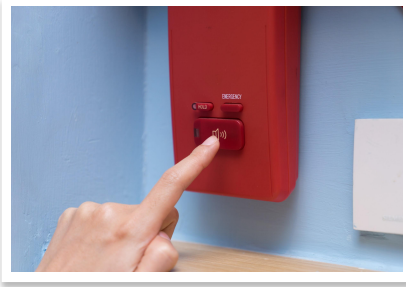
push は日本語の「押す」という理解でほぼ問題はありません。より正確な言い方をすれば「**押す力を加える**」というのが push のコアです。

そこで、「押さないで」は **Don't push me.** と言います。 **Push this button in case of emergency.** だと「緊急時にはこのボタンを押しなさい」ということですが、いずれも press でも表現可能です。だとすると、push の本質を理解するには、press との違いを知るのがよい、ということになりますね。press のコアは「押しつける」と表現することができ、図式的に表現すれば CORE IMAGE の下の図のような感じです。



Don't **push** me.

押さないで



Push this button in case of emergency.

緊急時にはこのボタンを押しなさい

つまり、push は押す動作に、press は押された結果に焦点があります。猫が花瓶を押してテーブルから落としたという場合は、push を使って、**A cat pushed the vase off the table.** と表現します。**You were just lucky. Don't push your luck, OK?** といえば、「運がよかっただけだよ。あまりいい気にならないように。」といった感じです。



A cat **pushed** the vase off the table.

猫が花瓶を押してテーブルから落とした



You were just lucky. Don't **push** your luck, OK?

運がよかっただけだよ。あまりいい気にならないように

「ボタンを押す」は **push the button** とも **press the button** とも言いますが、「ぎゅっと押す」場合は **press** のほうが適切でしょう。そこで、「押し花」は押し付ける感じがつよいため、**pressed flowers** といいます。ズボンなどのプレスも **Let me press your trousers.** のように、やはり **press** を使います。



push the button /
press the button

ボタンを押す / ボタンを(ぎゅっと)押す



Let me **press** your trousers.

ズボンのプレスをさせてください

push の名詞形に「押し」「奮闘」「突撃」などの意があるのに対して、**press** の場合は「結果」に焦点が置かれるため「出版物」「新聞界」「印刷機」などの意になることは注目に値します。昔の印刷機のイメージから **press** が「印刷機」の意で使われ、印刷機から出てくるものが「印刷物」であり、印刷を行う主体が「新聞界」となるのでしょう。



push

押し / 奮闘 / 突撃



press

出版物 / 新聞界 / 印刷機

「オレンジを押し潰してジュースを絞り出す」という状況では、press がピッタリで、**Press the oranges and squeeze out all the juice.** のように使います。



Press the oranges and squeeze out all the juice.

オレンジを押し潰してジュースを絞り出す

また形容詞の **pushing** は「ぐいぐい押している状態」を表すことから「精力的な」、**pressing** は「ぎゅっと押された状態」を表すことから「切迫した、切なる」の意になることにも注意しておきたいですね。



pushing

ぐいぐい押している状態 ⇒ 精力的な



pressing

ぎゅっと押された状態 ⇒ 切迫した、切なる